

人間らしさとは？

～5月の全校朝会リレートーク～



濁川中だより

令和5年
5月26日
第2号



5月8日(月)の全校朝会、校長先生のお話は、「ターミネーター」から始まりました。

皆さんは、「ターミネーター」という映画を知っていますか？未来で繰り返されている、コンピュータの支配に対する人類の果てしない闘いを描いたものです。実際の私たちの世界でも、ChatGPT(チャット GPT)のようにユーザーが入力した質問に対して、あらゆる情報を駆使して対話形式でA I (人工知能)が答えるサービスが登場しています。このままA Iが発達していけば、いずれは今ある仕事の大半が人間からA Iに取って代わられる、もしかすると、A Iによる支配が現実になるかもしれません。

ここで考えたいと思います。

AIにはない、人間らしさ、人間の強みとは何でしょう。



ここで、仲村先生へバトンタッチです。

春の花の中で、私はチューリップが大好きです。畑一面に同じ色の花が、均一にまっすぐに整列して並んでいる姿。遠くから眺めてもその景色は圧巻です。

昨年秋に行われた新崎駅前ボランティアでは、チューリップの球根植えが行われました。帰りに余った球根をいただきました。その球根を庭の小さな花壇に植えました。春になってその球根たちは花を咲かせました。

チューリップは、色も背丈も様々でした。赤、白、黄色、紫もありました。それを見て、私はチューリップの新しい美しさを感じました。一緒にそろそろ美しさもあるけれど、いろんな花がそれぞれの個性を生かして仲良く咲いている姿。その姿を見ると、楽しい気分になりました。

今年の生徒会の目指す姿は、「一人一人の意見を集め、よりよい学校生活を創る」です。

みんな違うから、いろんな意見があるから、学校は楽しいし、成長できる場だと思います。色とりどりのチューリップのように、濁川中の皆さんも、それぞれが個性を生かして楽しく、仲良く学校生活を送ってほしいです。



再び校長先生のお話です。

先日、臨時生徒朝会が開かれましたね。生徒玄関の靴へのいたずらがあり、防犯カメラを付けるかどうか、生徒会からの呼びかけがありました。それに対して、全校でロイロノートを使って自分の考えを表明しましたね。全校の皆さんの考えを読みました。

その中に、「カメラを付ける必要があると思うが、何だかざわざわする。」「機械に頼らずに人間の力で解決したい。」「カメラを取り付ければ犯人は見つかるかもしれないが、それで解決といえるのだろうか。悔しい。」といった意見がありました。この「ざわざわする」という感覚。「悔しい」という感情。付けた方が簡単に解決することは分かっているが…。という心の揺れ。悩み葛藤する。これが人間らしさなのではないでしょうか。機械やA Iにはない、心の揺らぎです。そしてこの心の揺らぎを、周りにいるみんなと「対話」することで、より自分たちにあった答え(最適解)に練り上げていく。そこにはストーリーがある。これが人間の強みではないでしょうか。

今年は、学校生活の中に、たくさんの**対話活動を取り入れていきます**。みんなで悩み、考え、対話して、みんなで濁川中学校をつくっていきましょう。

1・2・3年生を Watching (ウォッチング)



～対話活動やっています～

1年生

学年の仲間づくりのために、1学年朝会では「進化じゃんけん」「背中伝言ゲーム」「私は誰でしょう」など学年レクを行っています。代議委員が話し合っレクのやり方を自分たちで決めています。



2年生

自分たちの学級の現状、目指す姿について話し合い、学級目標をつくりました。学級目標が決まった後は、学級目標のデザインも話し合いました。



3年生

総合学習で「地域の発展って何だろう?」というテーマで学習しました。どんな姿になることが「発展」なのか、発展についての具体的なイメージについて話し合いました。



93人のスマイル

5月20日(土) 新崎駅前の花植えボランティア
笑顔の絶えない、いい1日でした。



詳しくは濁川中学校のホームページへ



<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>